

K-HL-040・K-HL-041

必ず施工前にお読みください。本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

安全上の注意（必ずお守りください）

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。
web shopでご購入のお客様は別紙の「免責と保障」「注意事項」もお読みの上、設置してください。

施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

△注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

! この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

△注意 ご使用に関する注意

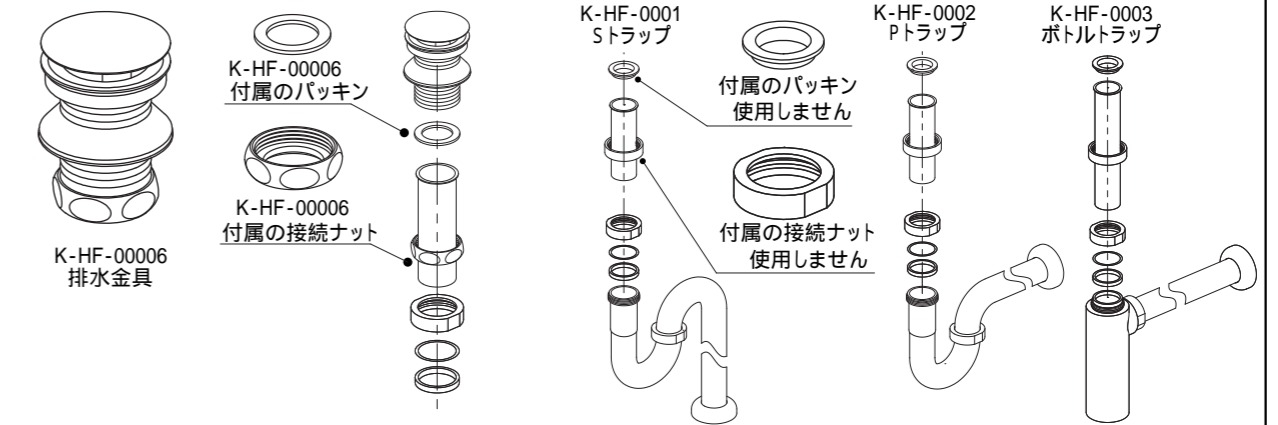
! 水道工事などは貴都市の条例に基づいておこなってください。
条例に基づいておこなわないと、水漏れの原因になります。
設置場所の水平、取付壁面の垂直、隅部の直角などができているかを確認してください。
据え付けを誤ると、使用中に取り付けネジがゆるみ、落下してケガをする恐れがあります。
工事完了後は、ガタツキなど、ゆるみがないことを必ず確認してください。
ボウルの取り付けに異常があると、使用中にケガをする恐れがあります。
給水・給湯管・排水金具・トラップは確実にシールをおこない、施工してください。
水漏れ、不快なおいやカビの発生原因になることがあります。
施工前・施工後に製品に破損がないことを確認してください。破損部でケガをする恐れがあります。
洗面ボウルには水を貯めるタイプ（オーバーフロー有）とためないタイプ（オーバーフロー無）があります。
それぞれに専用の排水金具を必ず使用してください。
当社指定の各ボウルへの排水金具・トラップ・混合水栓を必ず使用してください。
接続や機能上の問題の原因となることがあります。

△注意 信楽焼のボウルご使用に関する注意

! 水や湯に浸した際、変色や貫入が入る場合がありますが釉薬の特徴であり品質上の問題はありません。
貫入とは表面の釉薬に細かいヒビが入ることであり、焼物の風合いとなっています。これは陶器そのもののヒビではありません。
長時間水を入れたまま放置すると水分がにじみ出る場合、ありますのでおやめください。
洗剤液を長時間入れたままにしないでください。水漏れの原因となります。

△注意 K-HF-0006 丸鉢排水栓と各種排水管の接続について

専用の排水金具K-HF-0006に各種トラップ、K-HF-0001(Sトラップ)K-HF-0002(Pトラップ)
K-HF-0003(ボトルトラップ)を接続しますが、各種トラップに付属の接続ナットとパッキンは取り外し、
K-HF-0006に付属の接続ナットとパッキンを必ず使ってください。

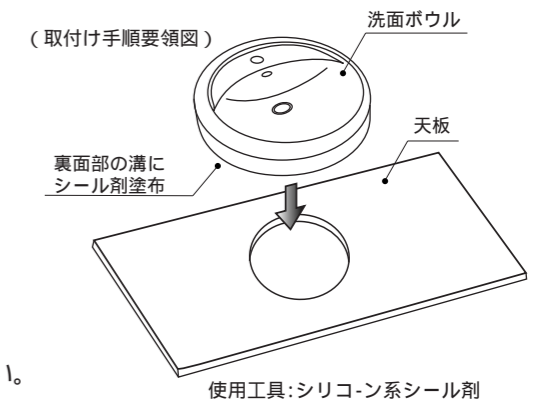


洗面ボウル取付け手順

洗面ボウルにシリコン系シーリング剤を塗る
洗面ボウル裏面の溝にシーリング剤を塗布してください。
ポイント:シーリング剤の直径が 5 ~ 8 mm になるように塗布します。

洗面ボウルの固定
洗面ボウルを天板の指定位置に載せてください。(切欠図参照)
注意:取付け後シーリング剤がはみ出していないか確認してください。
はみ出しがある場合はすぐ布で拭き取ってください。

ボウルの養生
洗面ボウルはシーリング剤固定です。取付け後、1日以上養生して放置してください。



製品仕様

タイプ	オーバーフロー無・水栓金具別体型	オーバーフロー無・水栓金具別体型
品番	K-HL-040	K-HL-041
材質	陶器	陶器(信楽焼)
製品寸法(mm)	410 x 128	410 x 115
ボウル容量	6リットル	4.5リットル
質量	5Kg	6.4Kg
専用排水金具	K-HF-0006	K-HF-0006
専用トラップ	K-HF-0001 K-HF-0002 K-HF-0003	K-HF-0001 K-HF-0002 K-HF-0003
形状		
取付穴加工寸法(*は推奨寸法)		

取扱方法とお手入れ方法

極度に湿度の高い所で使用しますと製品の劣化を早めることがありますので定期的な換気を心がけてください。
洗面ボウルに衝撃を与えないでください。洗面ボウルが破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因となります。

洗面ボウルのお手入れ方法

- 通常は空拭きで十分です。汚れがひどい場合は、中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
みがき粉、タワシなどの使用はやめてください。
- シンナーやベンジンなどを使用しないでください。変色、変質、ひび割れなどの原因になります。
- 殺虫剤や、酸性、塩素性の洗剤は使用しないでください。変色、変質させる原因となります。

KAWAJUN

www.kawajun.co.jp

NO.001